

みはま

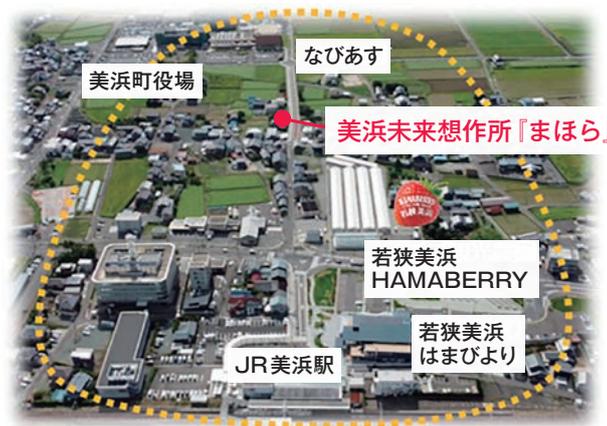
シナプスプロジェクト

「学びの創造」

まちの縁側をイメージした
「はがりや学びの場『まほら』」



「まほら」の外観デザインは、ガラス張りでオープンな佇まい。美浜町の焼き杉を活用し、街並みとの調和を図っています。



美浜町ではJR美浜駅から生涯学習センター「なびあす」までのエリアを「にぎわいゾーン」と位置付け、プロジェクトに取り組んでいます。



8月9日開催の「サンフェスティバル」では、テーマ授業の内容にホラー要素を加えた企画を子どもたちが準備し、接客から発表まで行いました。

美浜町では、JR美浜駅から生涯学習センター「なびあす」までのエリアを「にぎわいゾーン」と位置付け、美浜らしいにぎわいの創出を目的とした「まほら」は、シナプスプロジェクトが2023年度にスタートし、学びと挑戦を育む「人づくり」、優しい回遊空間を創る「空間づくり」、共創の軸線を貫く「コンテンツ作り」の3つのテーマに沿って、取り組みを進めています。その新たな拠点となる「美浜未来想作所『まほら』」

「まほら」が今年5月にオープンしました。「『まほら』は、素晴らしい場所という意味を持つ言葉です。世代を超えたつながりや学びの場として、まちの縁側のような形で活用いただくことをイメージしています」と話すのは、美浜町まちづくり推進課の久木健人さん。当センターは coworking space やコミュニティスペースを設けた開放的な空間が特徴で、幅広い世代や町内外の人と人を結ぶ交流拠点として、学びを通じた関係人口の拡大を図っています。

『まほら』で実施している活動の一つが、小中学生が探究学習に取り組む公設塾「放課後教室サン」です。これは、学びによる新たなにぎわい創出とまちの未来を担う人づくりを目的とするもので、教科学習とは異なる切り口で、興味・関心を広げる授業を行っています。

テーマ授業では「建築」や「スポーツ」など身近なテーマを題材にワクワクすることを探し、深掘りすることで子どもたちの視野や価値観を広げていきます。また、地域課題の解決に挑戦するプロジェクトや子どもたちがやってみたい挑戦を実現するマイプロジェクトなど様々な角度から子どもたちの主体的な学びを促しています。



展示スペースでは子どもたちの創作物など学びの成果もお披露目しています。

高校生を対象とした「学びコミュニティKa-i」では美浜町をフィールドとした高校生の実践的な学びをサポートしています。「将来になりたい職業につながるように取り組みむ子もいれば、現在の興味・関心を深掘りする子もいます。ここでいろいろな人と関わって気づきを得たり、自分軸を育てて未来につなげてもらえたら」と話すのはまちづくり推進課の大同絹代さん。

2023年度からスタートしたプロジェクトは、小中学生、高校生と対象を広げ、今年度は大学生や社会人に向けたプログラムの構築に取り組み予定です。シナプスがつながって脳が発達していくように、アイデアや人と人がつながって、にぎわいが形成されていくイメージからネーミングされたという当プロジェクト。世代を超え、町内外へと広がるつながりを育みながら、美浜らしいにぎわいづくりに挑戦していきます。

●この記事に関するお問い合わせ

美浜町まちづくり推進課

0770-3216701